

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

「最大の会社たらんより最良の会社たれ」の社是のもと、自動車の販売・サービスを通じて地域社会に安心と安全を提供し、お客様をはじめとする全てのステークホルダーとの信頼関係を築き、共存共栄の実現と「選ばれる企業」「未来に向けて繋いでいく企業」を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	使用電力の低減	消灯時間 2023年19:41→2026年19:30
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	家庭と仕事の両立支援	育児時短勤務の環境整備(適用期間 小学校卒業まで) 2023年末実施→2026年実施済
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	エコカー普及の推進	電動車比率 2023年35%→2026年50%

<パートナーシップ>

自治体との連携協定を通じて企業活動により公共性を持たせ、地域社会の課題の解決に積極的に関わるとともに、社員の多様性を尊重し皆が笑顔で働ける環境づくりに努める。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	使用電力低減 店舗毎に担当者を設置し、定期的な時間外労働削減に向けた会議を実施し、2020年度より32分短縮した。	時間外労働削減により消灯時間を30分繰り上げる。	2020年20:30 →2023年19:41
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	家庭と仕事の両立 2023年12月1日より育児短時間勤務の適用期間を小学3年生の年度末まで利用可能に変更した。	育児時短勤務の環境整備を実施する。	育児時短勤務の適用期間2020年小学校入学前まで→2023年小学3年生の年度末まで
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	エコカー普及の推進 試乗車にエコカーを使用した。	試乗車を活用して積極的なエコカー提案を実施する。	電動車比率が2022年度比で7.2%増加の35.7%

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。